

雨よけトマト栽培におけるカリの減肥

【1 成果の概要】

- (1) カリが蓄積した土壌では、カリを100%減肥しても、可販果収量はカリを標準施肥した場合と同等になります(図1)。
- (2) 総収量1t当りのカリの持ち出し量(地上部カリ吸収量)は概ね3.4kg/10aで、可販果収量を10t(可販果率70%、総収量14.3t)と想定した場合のカリの持ち出し量は48kg/10a程度と推定されます(図2)。

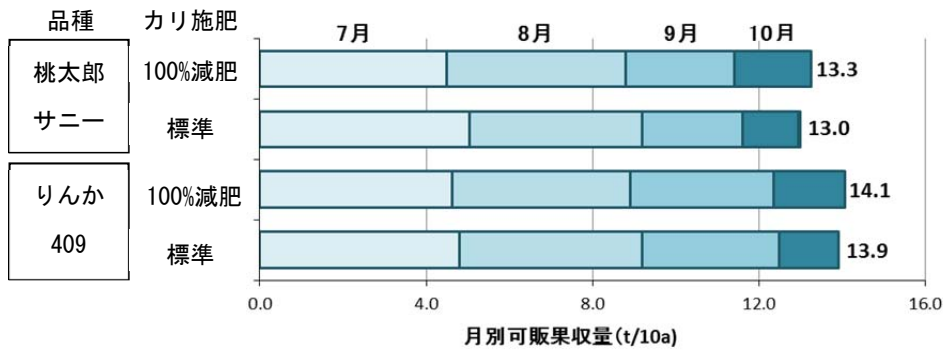


図1 カリが蓄積した土壌においてカリを100%減肥した場合の月別可販果収量と推定販売額(H28)

※1 台木：Bバリア 定植：5月下旬 収穫：第12花房まで カリ標準施肥量：30(12+18)kg/10a(成分)
 ※2 作付け前土壌のカリ飽和度：8.5% (交換性カリ：102.7mg/100g、CEC：25.8me/100g)

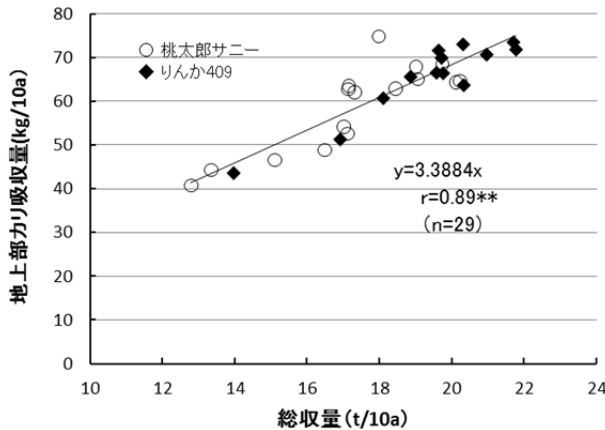


図2 総収量と地上部カリ吸収量の関係(H27~H29)

【2 留意事項】

- (1) 本試験は腐植質普通非アロフェン質黒ボク土における試験結果です。また、適用したカリ減肥基準は岩手県試験研究成果書を参照してください。
- (2) 減肥した場合は、土壌の交換性カリが低下するので、土壌診断を行いましょう。
- (3) 試験において、カリ標準施肥区・100%減肥区いずれにおいても、カリ欠による葉先枯れ症状が発生した時期がありました。収量への影響は無かったものと考えられます。

※本研究は、農林水産省委託プロジェクト研究「収益力向上のための研究開発(生産コストの削減に向けた効率的かつ効果的な施肥技術の開発)」で実施したものです。

担当研究室 環境部 生産環境研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4422 FAX. 0197-71-1085